

24 陳情 第 28 号	新宿区立戸塚第一幼稚園の今後のあり方に関する陳情
付託委員会	文教委員会
受理及び付託 年 月 日	平成 24 年 9 月 12 日受理、平成 24 年 9 月 20 日付託
陳情者	新宿区西早稲田————— ————— 代表者 —————

(要 旨)

区立戸塚第一幼稚園の今後のあり方については、保護者・区民の意見を十分に聞き、拙速に進めることのないようお願い致します。

(理 由)

私たちは、8月の終わりに突然届いた一通の書面によって、戸塚第一幼稚園のおかれている現状を知ることとなりました。そして、準備をするまもなく新学期早々に開かれた説明会では、結論を告げられ、私たちは、困惑するばかりでした。保護者や区民の意見、そして、戸塚第一幼稚園の現状を把握していただき、今一度、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

・見直し案では、「通園範囲を750m、幼児の足で、おおむね徒歩15分」としています。しかし、戸塚第一幼稚園が廃園になると、西早稲田地域は、この範囲から離脱し、毎日の通園による園児及び保護者への負担は、計り知れないものになります。まして近年起こりうると思われる大震災のことを考えると、大きな不安を抱えながらの幼稚園生活となります。

また、「保育室数が2部屋であり3年保育を実施するための保育室数が確保できない」としています。しかし、昭和48年4月から昭和60年3月まで、既存の施設での3学級編成の実績があります。よって、戸塚第一幼稚園における3学級編成は、十分可能であると思われます。

・戸塚第一幼稚園は、定員充足率も基準を満たしており、卒園生のほぼ全員は、戸塚第一小学校に進学しております。幼小連携のすばらしい教育環境で、園児とその保護者及び小学校児童は、充実した生活を送っております。

・1年間待機して入園する園児、3年保育の他園から、また、近隣の3年保育実施園が遠いことから、4歳児入園を機会に、転園してくる園児もおります。地域にとって戸塚第一幼稚園は、必要不可欠であります。3年保育が実施されていないことから、幼稚園が実施している未就園児の会に1年以上参加し、戸塚第一幼稚園の園児となることを第一に望んでおります。

・以上のことを踏まえると、戸塚第一幼稚園が3年保育となれば、園児数が増えることは、必至であると思われます。